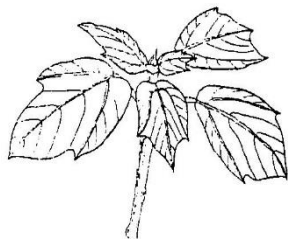


グリーンアドベンチャー 学習コースにある樹木



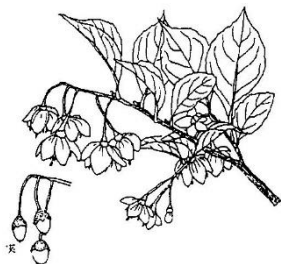
【マテバシイ】

葉がすべすべした常緑樹。長くて大きいどんぐりは食べられる。



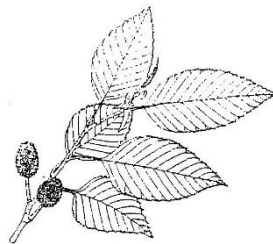
【アカメガシワ】

カシワの葉と同じように、昔は、この大きな葉に食べ物をもって食べた。新しい葉は赤色。



【エゴノキ】

白い花が下向きにたくさん咲く。実には毒があり、魚を捕るのに使われたことがある。実はあくがあるので、えぐい。



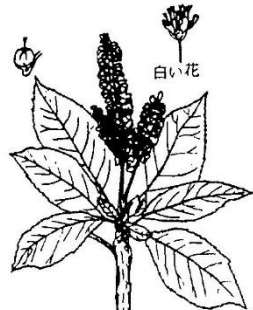
【オオバヤシャブシ】

松ぼっくりのような実ができる。実にはタンニンがあり、おはぐろにも使った。春先には花粉が飛び散り、花粉症の原因にもなる。



【ミヤマガズミ】

大きな葉をみると脈がはっきりわかる。真っ赤に熟した実は、鳥の大好物だ。



【リョウブ】

すべすべした幹は皮がはがれてまだらもようになる。新芽は山菜として食べられる。7～9月頃枝先に白い花をたくさんつける。



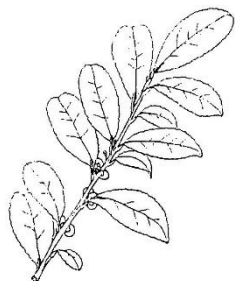
【カクレミノ】

葉の形はいろいろある。古い木の葉は丸っぽくなる。昔話の宝物で姿をかくすことのできる、かくれみのに似ているので名がついた。



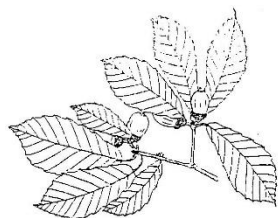
【アセビ】

アケボトキシンという毒があり、牛や馬が食べると、ふらふらとなる。そのようすをアシヒクといい、アシビ、アセビとなった。



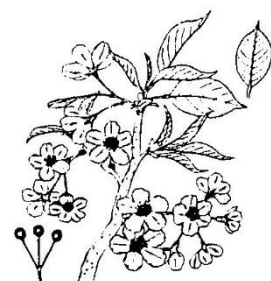
【ヒサカキ】

神社では神前に供えることがある。実のつく木とつかない木がある。実は、メジロやヒヨドリがよく食べる。2、3月に花が咲く。



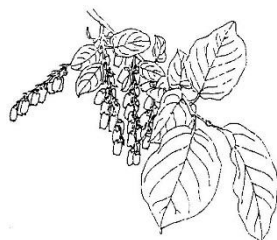
【コナラ】

小粒のほっそりしたどんぐりがつく。葉のふちはギザギザで、皮はたてに裂け目がある。



【ヤマザクラ】

春、赤味がかった葉が開くと同時に開花するので、ソメイヨシノと区別できる。葉の柄やがくに、毛がない。



【ネジキ】

6月頃つりがねのような白い花が咲く。幹がねじれたようになっている。枝は赤くなるので、ままごと遊びのぬりばしに使う。